



ロータリーは
機会の扉を開く

2020-21年度クラブテーマ
「一視同仁」～優しさを育てよう！～

2021年3月24日 第2187回例会

本・次年度ガバナー補佐訪問例会プログラム

12:30 開会点鐘

- ・国歌斉唱
- ・ロータリーソング「奉仕の理想」
- ・お客様紹介
- ・会長の時間
- ・ご挨拶

国際ロータリー第2660地区IM3組

ガバナー補佐 藤田 正明 様

- ・幹事報告
- ・出席状況報告
- お食事の時間 —



・クラブ協議会

- ①本年度事業報告 白井幹事
- ②地区報告並びに総評 藤田ガバナー補佐
- ③謝辞 橘副会長

・その他 ニコニコBOX 委員会報告

13:30 閉会の点鐘

・本日の会合(敬称略)

<ガバナー補佐との事前懇談会>11:30～

初木、橘、白井

<臨時理事会>13:40～

初木、國田、米田、橘、白井、木崎、原正和
原田、高橋、宮地、堀井、田代、日野、内田
川島、栗津、田中商人、森岡

<被選理事会>13:50～

米田、初木、橘、白井、田中商人、森岡
柿丸、山口尚志、小北、松田、姫島、松吉
大橋、多田、堀之内、秀島、北川、高橋
養老、朝川、川島

本日の歌♪

「奉仕の理想」

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に栄えよ
我等のロータリー

本日のお客様

国際ロータリー第2660地区
IM3組ガバナー補佐
藤田 正明 様 (門真RC)

献血活動報告

2021年3月21日(日)
牧野生涯学習市民センター



受付人数 42名
ご協力ありがとうございました!

■本日の配布物

- ①3月24日週報
- ②創立記念日家族例会のご案内

■本日の回覧物

- ・高校生向企業紹介冊子

■地区行事等出席予定(敬称略)

- 4/3 次年度の為の地区協議会zoom
米田、田中商人、多田、白井
森岡、松田、姫島、松吉、養老
大橋、朝川
- 4/8 米山奨学生オリエンテーションzoom
米田、朝川
- 4/10 枚方RC創立60周年記念式典
初木、白井

**第 2186 回
例会出席報告(3月17日)**

総会員数	82名
出席者	42名
出席率	—



合計	55,000-
累計	¥689,000-



(敬称略・順不同)

- * 白井幹事の活躍の喜びに 山口尚志
- * 山口友好クラブ委員長!
わかりやすい説明ありがとうございました
田中商人
- * 感謝の気持ち 稲田博旭
- * お久しぶりです! 中島 一
- * 2月ではありますが誕生日祝を
頂いた喜びに 瀬川裕一

今後の予定

3月31日(水) 定款により休会

- 4月7日(水) ■卓話
ひらかた仙亭 宮地社会奉仕委員長
12:30～13:30
- 4月14日(水) ■外部卓話
ひらかた仙亭 劇団「昭和座」
12:30～13:30 座長 武島 秀吉 様
■定例理事会
- 4月21日(水) ■次年度地区協議会報告
ひらかた仙亭 次年度役員・各委員長
12:30～13:30 ■被選理事会

会長の時間



初木 賢司 会長

本日の例会は夜間例会となり、座席の配列も今回はスクール形式とさせて頂きましたが、次回からは、円卓での例会形式を予定しておりますので、今回はお許し下さい。

さて、今日のお話は、女性のロータリアンについて少しお話をさせていただきます。我がくずはRCでは今年度で47年目を迎えており現在4名の女性会員が在籍されていますが、結成当時より40年間は、女性会員は在籍されていませんでした。ご存じのように次々年度には宮里唯子氏が2660地区初めての女性ガバナーとして活躍されますね。

ところで、ロータリーにおける女性会員の誕生は日が浅くて、未だ30年程しか経過しておりません。1989年までは、国際ロータリーの定款と細則にはロータリー・クラブの会員身分は男性に限ると記されていましたが、1978年に米国のカリフォルニア州のデュアルテRCが、3名の女性に入会を勧めたことで、RI理事会はこのクラブ

がRIの定款に違反したとして、その加盟認証を取り消し、クラブはこれを不服として提訴したそうで10年の係争の末、連邦最高裁は女性の締め出しを戒める判決を下し、直ちに1989年のRI規定審議会で定款に変更が加えられて、「男性に限る」の規定が削除することが決定され、全米のRCに女性会員承認の声明を出したそうです。

人やクラブは歴史を刻んでいく中で順調に行く時ばかりでなく紆余曲折もありますが、どんな時も揺るがず、どんと構えて耐える人は女性に多いように感じますが、そんな中、ロータリーの個性・性格を次の4つの言葉で表すと、「賢明さ」「思いやり」「粘り強さ」「行動を促す力」です。もちろん男女を問わず持っているものですが、「四季の歌」に出てくる「根雪を溶かす大地のような僕の母親」と言う一節のように地道に愛を注ぎ続ける力が必要なのだと思えます。ロータリアンの目指す所は世界において変化を生み出すことです。粘り強く、根気のある不屈の精神で、長期的に挑むことが大切だと思います。母性豊かな女性ロータリアンの存在が、ロータリーの発展にも大きく寄与されることと感じますので、今後も女性会員の増強には力を入れていきましょう。

卓話「私たちにできることから始まった交流 東日本大震災から10年」 山口尚志 友好クラブ委員長

交流を通して「ロータリアンとしての共通の思い・想い」



山口尚志委員長

遠く大阪の地より「私たちにできること」を命題としてクラブとして様々な支援を形にして応援をしてきたところである。何よりもあの被災の現状をみてその自然の驚異を肌で感じ、これからどう

いう支援がいいのかと自問自答しながら、くずはロータリークラブとしての位置づけを少しずつ構築してきた。それは、まさしく自然体であり震災6ヶ月後の気仙沼の地を訪れたことは大きい。

その後は「東北にメイクアップに行こう」というコピーが発信された如く、くずはロータリークラブとして毎年、気仙沼を訪問。年ごとに街並みは整備されたが「地面をあげる」という何年もの造成工事には驚く。訪問復旧に時間を要し、復興についてはさらに何年も時間を要することと認識する。即ち「陸に揚がったタンカー」を撤去するか、モニュメントとして位置づけるかの課題である。

気仙沼ロータリークラブ、また気仙沼南ロータリークラブの会員の逝去は心を大きく苦しめることとなっていることと察するところである。現地を訪問し、気仙沼ロータリークラブ、気仙沼南ロータリークラブの方の「生の声」

を聴くに及んだ。特に震災当時の気仙沼ロータリークラブ神山会長のことば、その言葉は「ロータリーはすごい」である。余計な説明もなく各地ロータリークラブから「支援に行きます」との発信が多く、クラブから発せられた。ここに「ロータリークラブの共通の思い・想い」が込められていると感じるところである。

友好クラブ締結に向けて 今後の方向性

友好クラブ締結に至った後において様々な友好クラブ活動を当委員会は摸索したがいずれも互いに遠距離にあってなかなかその都度の交流が困難となることより、奉仕活動、事業等の情報交換や共有を図る。また、例会に双方において出席、メイクを行う等の実現可能な友好関係を構築する。但し、新型コロナウイルス感染拡大防止対応により、円滑な事業展開が困難と予測されることより当面は、両クラブにおいて今後の活動については別途、協議することとする。



Rotary



ロータリーは
機会の扉を開く

発行

KUZUHA ROTARY CLUB

創立:1974年5月30日 承認:1974年6月25日
クラブ名称変更承認:2005年6月6日
会長 初木 賢司
広報公共イメージ委員長 川上 和之

〒573-0027 枚方市大垣内町3-1-20ひらかた仙亭4F
TEL:072-804-9037 FAX:072-804-9038
Email:info@kuzuha-rc.jp URL:http://www.kuzuha-rc.jp/

